

Domaine Ponkotsu

新着ワイン情報

ジャロピー 2016 (オレンジ)

デラウェアの醸し。2016年はデラウェアがよく熟した年。今回は醸しを2015よりも長く行っている。その分プレス後は樽に移すことによって、醸しのニュアンスと柔らかさを両立している。前回よりも明らかに数段上の味わいで、松岡氏の経験の豊かさと修正力に改めて感動してしまった！

本人曰く、コンセプトは緩い酒質でガラクタなイメージだという。子供のガラクタ集めは、大人には価値がわからないが、本人は宝物を集めているような気持ち。稀にその中に大人が見てもキラリと光るものがある。そんなイメージでこのワインは完成した。

ワイン名のジャロピー (jalopy) はポンコツ車という意味で、ワインの持つ「ちょっと価値のあるガラクタ」というイメージがリンクし名付けた。

山田 (やまだ) : 甲州市上岩崎山田。棚仕立て。品種はデラウェア。平地。12 a。

小林剛士氏から引き継いだ畑。

全体的に力が衰えているような印象で、徐々に剪定で樹形を整理していく予定で、今後のブドウの品質向上が期待できる。

内藤 (ないとう) : 甲州市上岩崎内藤。棚仕立て。品種はデラウェア。平地。8 a。

小林剛士氏から引き継いだ畑。山田のすぐ近くに位置する。

おやすみなさい 2016 (ロゼ泡)

巨峰の微発泡。今年はシヨ糖のティラージュは行っていない。去年は瓶内二次発酵が殆ど起きなかったため、超微々発泡でのリリースとなったが、そのあたりも今回はしっかり改善されガス圧も約3気圧と松岡氏の設計通りに発酵が進んだ。今年は新たに塩山藤木地区のメルロー、カベルネソーヴィニヨン中心のヴィニフェラが少量入っている！残糖はリリース時点で8 g/Lと、程よい優しい甘さを感じるので、誰が飲んでも美味しいワインに仕上がっている！キュヴェ名の『おやすみなさい』は、畑の一つが『休息』という場所にあることから名付けられた。

休息 (きゅうそく) : 甲州市勝沼町休息。棚仕立て。品種は巨峰。平地。22 a。

ワイナリー仲間から引き継いだ畑。勝沼の底に位置する。

休息では桃とブドウを両方栽培している人が多い。休息のブドウ農家はほとんどが生食用。

休息という名前は、この土地にある立正寺に日蓮上人が立ち寄り、休息をとったことから名付けられたと言われている。

上岩崎 (かみいわさき) : 甲州市勝沼町上岩崎。棚仕立て。品種は巨峰。10 a。

小林剛士氏から引き継いだ畑。

藤木 (ふじき) : 甲州市塩山藤木。垣根仕立て。品種はメルロー、カベルネ・ソーヴィニヨン主体。4 a。

小山田氏が管理していた畑を引き継いだ。

ヴィンテージ情報 生産者コメント

2016 山梨 (峡東エリア)

今年はゴールデンウィーク前に少量ではあるがまとまった降雨があり、若干のベト病が発生した。その後は雨量も少なく、とくに6,7月は空梅雨と言って良い程まとまった雨が降らなかった。そのため、ベト病が拡散することもなく、裂果もなかったため、デラウェア、巨峰共に熟度のある良いものが収穫できた。